

平成 25 年 10 月 2 日
電源開発株式会社

タイ国・サラブリ NK2 コージェネレーション発電所の営業運転開始について
～7 件の SPP 事業すべて営業運転を開始～



電源開発株式会社（本社：東京都中央区、取締役社長：北村雅良、以下「Jパワー」）がタイ国において参画しているサラブリ NK2 コージェネレーション発電所（出力 12 万 kW、以下「NK2」）は、本年 10 月 1 日に営業運転を開始しましたのでお知らせいたします。

NK2 は、Jパワーのタイ国現地事業会社 Gulf JP NK2 社（Jパワーの出資比率 90%）を通じて開発を進めてきており、営業運転開始後は、タイ国の SPP プログラム（小規模発電事業者買取保証制度）に基づきタイ国電力公社（EGAT）に 25 年間にわたり電力を卸販売するとともに、近傍の一般顧客に電力・蒸気を販売していきます。

NK2 の営業運転開始により、Jパワーが参画する営業運転中の海外 IPP プロジェクトは 35 件・出力合計約 1,790 万 kW（持分出力約 464 万 kW）となりました。

これまで Jパワーがタイにおいて進めてきた新規プロジェクトとしての SPP 事業は、今回の NK2 を以って 7 件すべて営業運転を開始したことになります。これら SPP 事業とは別に、2 件の IPP 事業（ノンセン地点、ウタイ地点）については、それぞれ平成 26 年と平成 27 年の運転開始を目指し、建設工事を進めております。

以 上

【別紙－1】タイ国における開発中のプロジェクトについて

【別紙－2】7SPP 事業、2IPP 事業の位置図